つとむ通信

地域力 UP！　1. 個々の知恵やアイデアを汲み上げて
2. 地域の特性を生かして
3. 心と心が響きあう安心の社会を

富津市議会議員　渡辺つとむ後援会事務所　千葉県富津市千種新田375－5
℡0439－65－0526　FAX0439－65－0683
e-mail　tsutomu364@rondo.plala.or.jp

政策討議資料

№26　令和3年1月　議会報告

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

富津市議会議員　**渡辺つとむ**です。

昨年は新型コロナウイルスが国内を席巻し富津市にも大きな影響を及ぼした一年となりました。市民の皆さんが安心して穏やかに、そして将来に希望を持って暮らせるまちを実現するように引き続き取り組んでまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。

☆　議長の役割として

新たな議会構成の中で

令和2年４月の市議会議員選挙において4期目の議会壇上に上げていただきました。続く議長選挙において富津市第25代議長を仰せつかりました。改めてその責任の重さを痛感しています。

議会は二元代表制の一翼として市政の充実や市民福祉の向上のためにその機能を発揮させなければいけません。

市民の代表として市民に寄り添い市民のお役に立つ議会であることを標榜し活動を続けてまいります。

具体的には

・公共の決定者
・権力の監視者
・政策の立案者
・民意の集約者

この 4 つの役割を自覚しつつ諸問題に取り組んでまいります。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議会の ICT 化への取り組み

新たな市議会議員 16 名で、議会 ICT 化をまず進めることとし、議長から議会運営委員会に諮問しました。新型コロナウイルスの感染予防のために傍聴を議場に行かなくても可能にするために、本会議のインターネット配信を今年9月から本格実施することとしました。既存の画像配信システムを使用し低いコストで実現可能となります。

また議会事務局職員の負担を軽減するため、ペーパーレス議会を推進します。現在、市が進める本庁業務システムの高機能化に連携する形で紙媒体の書類をできるだけ減

らし印刷や郵送の事務手続きを少なくします。本庁とのシステム連携のため次年度以降の導入を目指します。

つとむの視点

書類管理や事務の効率化は直接市民生活にかかわる分野ではありません。そのため市民の生活に直結する事業であるコロナ禍での緊急対策等を先行させるべきとのことで実施目標を今年度ではなく先送りすることとしましたが、県内でも議会の画像配信とペーパーレス議会（書類を紙媒体ではなく可能な限り電子化すること）は大部分の自治体が採用しているもので、事務作業を行う職員の負担を減らし、議員への迅速な情報伝達を進める上では必要なことだと思います。
ご理解をいただきたいと思います。

かずさ４市議長会から県へ要望

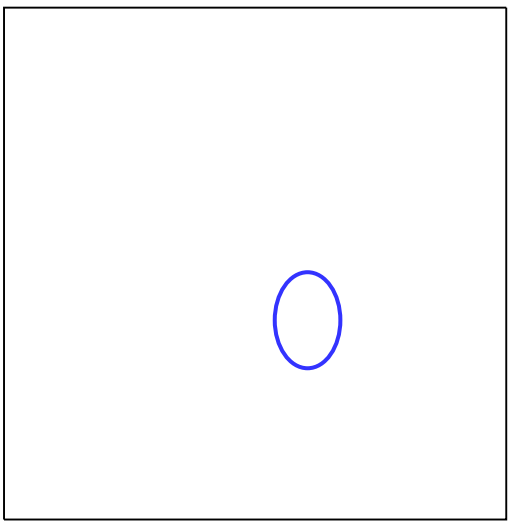
令和2年10月にかずさ4市議会議長会として千葉県の森田知事（正式には鈴木栄治知事）に要望書を提出しました。富津市に関連の深い事項について報告します。

1：篠部と千種新田の境から JR を超えて市役所に向かうバイパスの要望（国道465号千種新田バイパス）。国道465号は房総半島中央部を東西に横断する地域間交流のための基幹道路ですが、千種新田及び岩瀬地区にはいまだに狭小な未整備の区間が多く残されています。この地域の交通の安全性の必要性と利便性の確保の観点からこのバイパス（現在は JR 軌道手前で工事途中）の早期の工事完了を要望しました。

2：山王地区から二間塚を経由しファミリーマート方面へ向かう道路（県道大貫青堀線バイパス）は青堀駅東口から二間塚方向に延びる市道（完成済）と接合し君津方面への利便性確保と狭小道路の解消のために重要な路線であるため早期の完成を要望しました。

3：県道君津大貫線（本郷バイパス）は吉野・大貫地区の利便性向上の上で重要な路線で長く要望を続けてきました。近年ようやく一部工事が着工されていますが、君津木更津方面への通勤通学の主要ルートであるため一日も早く工事を完了することを要望しました。

4：岩瀬川の護岸改修



岩瀬川河口から岩瀬富士見橋（君津商業高校の旧野球グランド側）までの護岸は昭和の時期に整備され経年劣化が激しく土砂

の吸い出し等が多数発生しています。昨年7月には以前から断続的に発生していた岩瀬橋下流（JR 陸橋手前）の護岸が崩落し今も仮復旧の状況が続いています。既設護岸の調査及び早期の護岸改修について要望しました。

つとむの視点

政治（市政）の仕事の基本は市民の生命と財産を守ることです。市内の道路や橋など生活をするうえで必要不可欠なインフラは適切に長寿命化をはかったり、生活様式の変化や生活導線の変化（交通量の変化など）に適切に対応していく必要があると思います。今回は主に吉野・大貫地区を中心に抜粋してご紹介しましたが、富津市単独ではなく、**かずさ4市の議長会**が圏域の総合的な利便性の向上を図って県知事に要望をすることは大きな意味があると思います。この要望活動がお決まりの年中行事化することの無いようにその進捗をチェックしてまいります。

☆市政報告

高齢者のコロナウイルス検査助成事業

65 歳以上で重病化リスクの高い基礎疾患をお持ちの高齢者について行政検査（県が指示する保険適用の検査）以外のPCR検査について検査費用の 1/2 で且つ 20,000 円を限度に費用を助成することになりました。

肺疾患や腎臓病、糖尿病などの基礎疾患をお持ちの方がPCR検査を私費で受けようとすると3万円から4万円の費用が掛かります。その半額で且つ 20,000 円を限度に費用の助成をします。詳しくは市役所介護福祉課までお問合せください。

青堀保育所運営会社が撤退意思表明

市内で一番多くの幼児を保育する青木の青堀保育所の運営会社が事業のてったいを 2 年後の表明しました。市外の事業者（高砂福祉会）が運営する当保育園は園児数も多く子育て世代の家族には大きな影響があります。かねてより3歳未満児の保育士不足が課題となっておりその確保ができないことにより、3歳以上児の受け入れに限界が生じていて収益を圧迫していたようです。

市では引き続いて運営を引き受ける事業者を探すとともに対策を検討中です。市民の皆さんの中で保育士の資格を持っている方、以前は保母さんをやっていたが今は仕事をしていないなどの有資格者がいらっしゃいましたら是非富津市の将来を担う子供たちのためにご協力をお願いします。

プレミアム商品券の発行

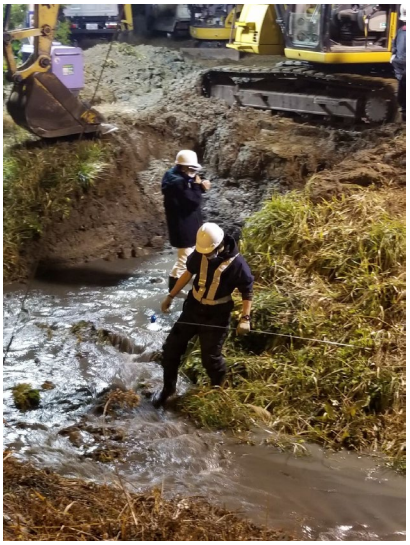
国の助成制度を利用し市内の商店で買い物をすると30％のプレミアムが付く商品券を発行しました。市内での消費を喚起し、経済の循環を進め新型コロナウイルスの経済的

影響を少しでも緩和し、地元商工業者の事業継続意欲を折らないことを目的とした制度。ぜひ購入済の商品券をお持ちの皆さんは忘れずにご利用ください。

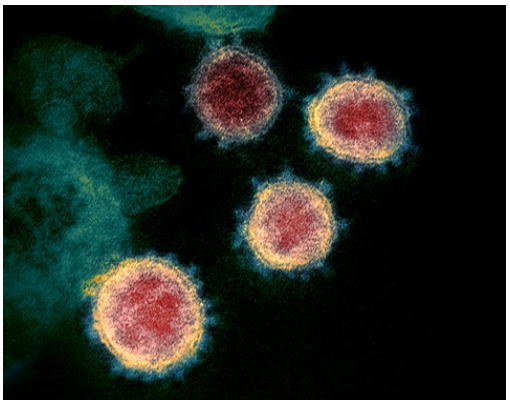
一冊 10,000 円で購入すると 13,000 円分の商品券と引き換えることができると同時に、合計2億円の市内事業所での消費が喚起されると一石二鳥の制度です。ぜひご利用をお願いします。

市民の安心安全のために

豪雨により湊川の水位が上昇した令和元年



昨年末から年明けまで、笹毛地区で大規模な漏水が発生しました。天羽地区の約 4,800 戸が断水のため影響を受けました。



新型コロナウイルスは今も人類の大きな脅威となっています。しかし有史以来、人類は何度も自然災害やパンデミックや経済の危機を乗り越えてきました。今回も必ず、私たちはこの困難を乗り越えることができます。いつか見えてくる明るい出口に向かってともに歩を進めていこうではありませんか。

渡辺つとむプロフィール
昭和36年4月25日富津市千種新田生れ
県立木更津高校卒
立教大学経済学部卒（弁論部出身）
工学院大学専門学校建築科研究科卒
藤和不動産(株)財務部に勤務後
現在家業(有)渡辺サッシ代表取締役社長

富津市議会　議長
千葉県後期高齢者医療広域連合議員
君津富津広域下水道組合議会議長
君津郡市広域市町村圏事務組合副議長
富津市バドミントン協会会長
富津市国際交流協会副会長
富津市スポーツ推進委員